



【特集】

技 子どもたちを育む快適で安全な環境づくり ～保育室の接合と段差がなく清潔なトイレへ～

よりよい保育環境を目指して

清水の湧き出る地として親しまれ、毎年たくさん
のホタルが飛び交う富山県高岡市の中田地区。ゲン
ジボタルやヘイケボタル、川魚のトミヨなども生息
する自然豊かな地域である。

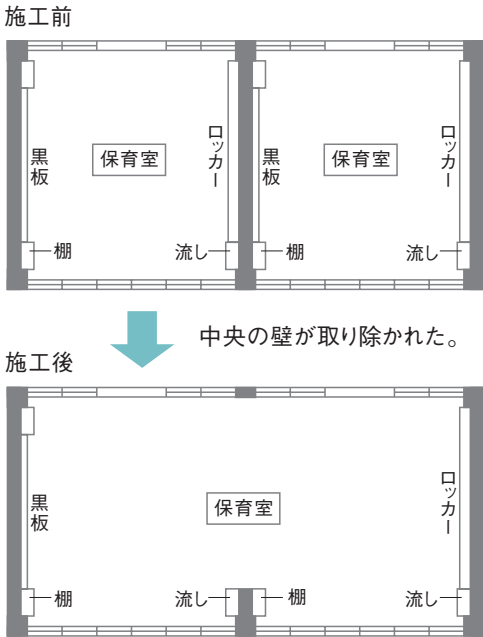
社会福祉法人 中田保育園がこの地に開設さ
れたのは昭和六年。寺院の託児所として始まり、
住宅団地や分譲住宅の造成に合わせ、順に建物
を大きくしてきた。近年は少子化の影響を受け、
保育室にゆとりが出てきたため、園は子ども達
にとってよりよい環境を整えることにした。

保育室のゾーン分けによる ソフト面の充実

その対象の一つが保育室。八部屋あった保育
室のうち、二部屋の間仕切壁を取り外して広い
部屋をつくった。園児が動きやすい環境を整え
るためだ。

「以前は、机や椅子の配置を変えなければ、
子どもたちの遊ぶ場所を確保できませんでした。」
と話すのは飛鳥園長。園児が食事を摂ったり友
達と遊んだりするためには、その時々に応じて、
ものを並べ替える必要があった。

そこで園は、保育室の空間を広くとり、ここ
は学習するところ、ここは本を読むところ、こ



中央の壁が取り除かれた。

こはブロックで遊
ぶところ、とゾ
ン分けして使用す
ることを考えた。

また、作り付け
てあった棚も取り
外されるため収納
はなくなるが、キャ
スターのついた可
動式の棚を購入し、
収納としてだけで
なく、ゾーン分けの仕切りとしても使用するこ
とになった。

「いろんな事に対応でき、動きやすい部屋に
なりました。」と園長は喜んでる。

技術とデザインを求められた建具

次は、保育室の出入り口の建具だ。園からの要望
は、「子どもがレールにたまたまついて危ないので、安全
な戸にして欲しい。それに開け閉めが楽で、かわいい
デザインにして欲しい。」とのこと。

建設時から多くの人に使われてきたため、戸車や
レール、鴨居までもが激しく擦りへって、戸も反って

施工前の引き戸

動かしにくく「ガ
ラガラ」と音もし
ていた。敷居や鴨
居を取り替えれば、
問題は解決され



施工後の引き戸「クマ」



間仕切りとしても使用されている収納棚

るが、費用と工期が限られていた。そのため敷居は
そのまま使用し、戸が外れにくいフラットレールを
埋め込み、専用の戸車を取り付けた。鴨居は溝の中
に「U」型のアルミチャンネルを入れて溝巾を一定にし、
ガタつきがなくフラットで軽い引き戸になった。

問題はデザインだ。当初、窓の形は○や△を提案
していたが、動物の型抜きになった。

「『リス』や『クマ』など『動物』の名前が各部屋に
ついていたので、遊び心で動物の型抜きを作ったの
です。それを保育士さんが気に入られて、そのまま
採用されました。」と思いがけない出来事におどろ
く担当者。

園児の生活と 清掃のしやすさを考えたトイレ

園から安全性、清潔さ、そして暖かさを求められ
たトイレにも、園児を思いやる工夫が施されている。
クッション性のある床が設置され、廊下との段差が
取り除かれた。

床材の継ぎ目は溶接してあり、壁はキッチンパネ
ルへ換えられ、掃除しやすくなった。

「昔のトイレはタイル張りだったので、目地が黒ず
んで掃除が大変でした。今は、汚しても雑巾ですぐ

に拭き取れるので助
かります。何より、暖
かい印象になりました。
」と保育士さん。
よりよい保育環境
を目指す園の皆さん
が満足するリフォーム
となりました。(技ネット)



施工後のトイレ

今月のオーナー訪問



社会福祉法人 中田保育園
園長 飛鳥 寛恵さん

細かな対応が良かった。

着工前からいろいろな要望
を伝えましたが、工事中も現
場を見て、たくさん伝えました。
例えば「トイレの手洗い」。向き
は変えない予定でしたが、現場
を見て思ったよりスペースを取
れたので、向きを変えれば園
児が使いやすいと思い、90度回
転してもらいました。

このような変更の多い工事
でしたが、親身になって対応し
てくれて感謝しています。あり
がとうございました。



技のリフォーム

イワザ ミセマス
0120-183-304